

## 共通体育「剣道」授業評価を受けて

鍋山隆弘

### 1. はじめに

体育センターでは平成14年度に続き、平成15年度も学生から授業評価を受けるためにアンケート調査を行った(資料1)。その結果を踏まえながら授業報告とする。

体育センターの共通体育は、大学会館における種目選択から始まる(1年生は2回の講義後)。剣道は第1希望で受講する学生は少なく、人気のある科目(種目)ではない(図1)。人気科目の定員にもれた学生が集まり、最終的には40名程度の受講者となる。

受講者が決定した後は、毎授業後に提出するノートにその日に習ったこと、理解したこと、理解できなかったこと、うれしかったこと、嫌だったこと、反省、次回の目標等を自由に書かせるようにしている。ノートの表紙に顔写真を載せるのは、それぞれの学生がどのような状況であるのかを把握するためである。

このノートは授業終了時に回収し、その日の内にチェックする。以前は特別なことを書いていない限りサインだけで終わっていたが、後に紹介するレポートに「何かコメントが欲しい」との要望があったため、現在は可能な

限りコメントを書くようにしている。このノートには剣道の用語解説用紙(資料2)も付けることになっている。

### 2. 授業概要

#### 2-1 1学期

第1回目の授業は資料(資料3)を配付し、授業の決まりについて説明する。靴を靴箱に入れることや自転車の置き場所など武道館内外の決まり事、剣道場の出入りでの一礼等の剣道場での作法の説明。人と人の殺し合の技術から始まった剣術から、人間形成を目的とした剣道へ変化してきた剣道の歴史について。また、江戸中期頃からと言われている防具を付けての稽古や竹刀の歴史等について説明する。

欠席や遅刻、早退や見学を含め単位の評価基準を説明する。

剣道を行う際はまず道場の雑巾がけから始まる。授業では時間の関係で省略してしまうことがあるが、学期毎に2回程度の雑巾がけを行うようにしている。

八段審査を舞台とした剣道の奥深さを感じられるビデオを鑑賞させる(NHKドキュメント日本、心で闘う120秒)。

受講している学生の中には小、中、高校等で剣道の経験がある者もいる(以下経験者)。同じ基本練習を行っていても経験者に飽きがないように、それぞれに合ったレベルの高い基本動作修得の課題を与えるように心がけている。

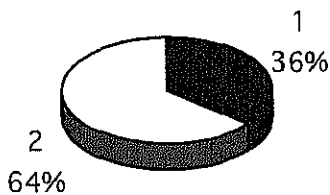


図1 第1希望  
第2希望

## 2-2 2学期

第1回目の授業で剣道着と袴を貸し出す。剣道を体験するのであれば、1学期から剣道着・袴を着装したほうが良いであろうが、剣道で最も重要である足の技術が袴によって隠れてしまう。指導者の足、学生自身の足の動きを見やすくするため、剣道着・袴の着装は2学期の授業からとしている。2回目の授業で体にあった防具を選び着用する。

2学期からは、経験者とこの授業で初めて剣道を体験した者（以下初心者）と分けたメニューも取り入れる。経験者同士で行うことで、よりやりやすい環境が整う。また「初心者から見られている」といった程良い緊張感が生まれているような気がする。初心者にとっては経験者の動きを見ることによって自分との違いを知るといった相乗効果も期待している。

経験者、初心者を同じグループにして経験者を指導者にして課題を与えることもある。私が一人一人に声をかけていても限界があるが、初心者にとっては多くのアドバイスをもらうことによって、有意義な時間を過ごすことができる。経験者は教えることによって改めて自分を見つめ直す事もできるし、できていると思っていたことができなかつた事などに気づく事もあるようである。

経験者とは実際に地稽古（互角練習）を行う。基本的に相手の力（実力）に応じた力で対応するが、力の違いを理解できる程度に稽古することを心掛ける。1学期の基本練習に身が入らなかった者も、基本の大切さが身をもって感じるようである。

夏休みは道場訪問と1学期の授業の良かった点、悪かった点をまとめたレポートの課題を与える。（資料4-1、4-2、4-3）

## 2-3 3学期

第1回目の授業で資料を配付し、試合について説明する。説明が終わった時に「質問が

ある者は手を挙げて下さい」と言っても、2、3人程度からの質問しか出てこないの、1人1回は必ず質問させるようにしている。質問させてみると、かなり多くの学生が理解できていないことわかる。1人1回の質問は、全体の理解度を上げるには良い方法かと思っている。

2回目の授業より試合を行う。審判員は体育会剣道部所属の学生に手伝ってもらっている。試合後は審判員による好評とアドバイス。その後、学生同士によるミーティングを行い、良かった点、悪かった点を出し合う。最後に地稽古を行い授業終了となる。3学期は試合の前に振りかぶりを小さくした応用技の説明を行い、その技を稽古した後にから試合を行うことが多くなっていく。

授業最終日は、私対全受講生の試合を行う。現在私は無敗である。

## 3. 評価の要因

授業評価アンケート結果を図2から図17に示した。50パーセント以上が6評価の項目についての要因を、考えられる範囲で説明する。

### 3-1 図3 授業の難易レベルの設定が適切であった

初心者、経験者に同じメニューを与えながらも、経験者にはレベルの高い課題を与えるように心掛けている。

### 3-2 図4 教官の教え方が上手で内容が理解しやすかった

剣道の動きは極めて複雑だと考えられる。そこで、動き一つ一つを細かく分解し、動きを感じさせるための表現の工夫を心がけている。例えば、踏み込みである。「踏み込み」という運動は、私の知る限り同じような動きをするスポーツはないと考えている。似たような動きがあるのであれば、その動きをすることである程度感じさせることができるが見当たらない。そこで考え出した表現方法が「空き缶潰し」である。空き缶を足で潰す運動は

踏み込みにかなり似た動きをするのである。空き缶潰しの表現を使いはじめからは、飛躍的に踏み込みの上達ペースがあがってきた。ノートにも理解しやすかったと書いてあり好評である。71パーセントが最高の6評価であった。指導者として、また、教育者として最もうれしい評価ではないだろうか。

### 3-3 図5 施設や用具が適切であった

剣道の授業で一番気を付けなければならないのが用具の問題である。中・高校で剣道を経験した者が剣道を進める一つの要因として用具の臭いがあげられる。しかし、今回のアンケートでは70パーセントが用具について最高の6評価をしている。あまり臭いは気になっていないようである。また、今までノートに「臭い」と書いてあった記憶もない。

臭くない要因はいくつかあげられる。一つは除湿器の設置である。防具庫は常に一定の湿度をたもっており、カビや菌の発生を押さえているのではないかと考えられる。また、小手は修理を行う前に洗っており、小手、面には消毒をすることもできる。このような状況が臭いを押さえているのではないかと考えられる。

### 3-4 図6 教官は授業に関する十分な知識と高度な専門性を備えていた

94パーセントが最高の6評価であったが、6パーセントが5評価である。この項目においては100パーセントを目指さなくてはならないような気がしている。

### 3-5 図7 教官の授業運営に熱意や工夫が感じられた

ありがたい評価である。

### 3-6 図8 教官と学生とのコミュニケーションがあった

授業開始前に早く準備をしている者から声をかけ指導を行う。授業中はできるだけ声をかけるようにする。授業後、ノートを提出する際に声をかける。積極的に声をかけてやるのが、コミュニケーション作りには大切に感じる。

### 3-7 図9 成績の評価は公平かつフェアであった

1学期に成績については細かく説明を行っていることが良かったのではないかと考えられる。技術の優劣だけで評価するのではなく、どれだけ剣道に接し、剣道を考え稽古したかに重きを置き、出席とレポートで評価している。

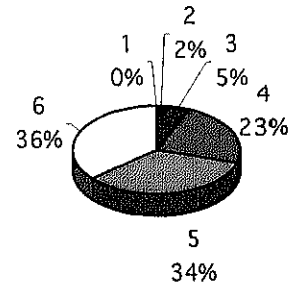


図2 出席状況がよく熱意ある態度で取り組んだ

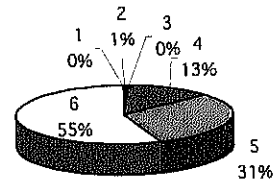


図3 授業の難易度レベルの設定が適切であった

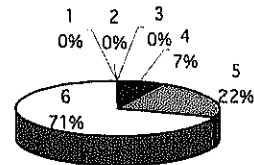


図4 教官の教えが上手で内容が理解しやすかった

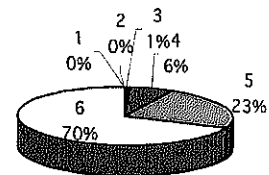


図5 施設や用具が適切であった

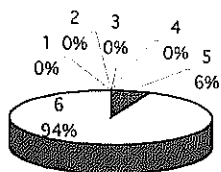


図6 教官は授業に関わる十分な知識と高度な専門性を備えていた

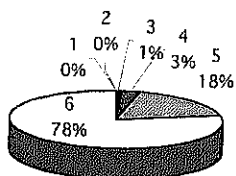


図7 教官の授業運営に熱意や工夫が感じられた

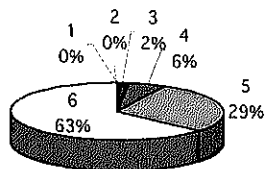


図8 教官と学生とのコミュニケーションがあった

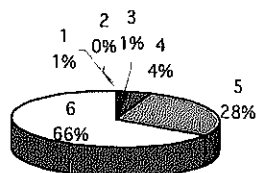


図9 成績の評価法は公平かつフェアであった

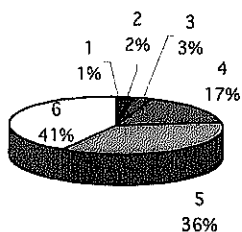


図10 スポーツ・運動をすることにより、開放感や爽快感が得られた

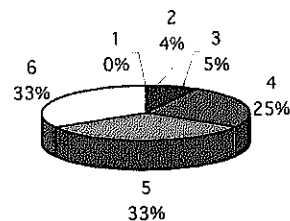


図11 学生相互のコミュニケーションがとれた

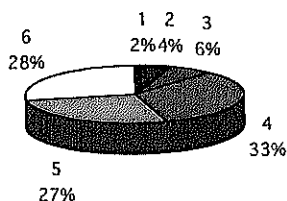


図12 健康・体力の維持増進に役立った

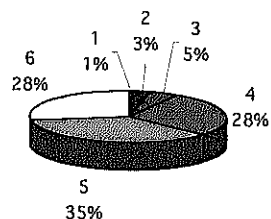


図13 スポーツ・運動の技術向上に役立った

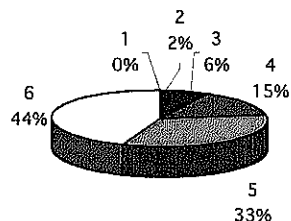


図14 スポーツ・運動への興味関心(やること・見ること・読むことなど)が高まった

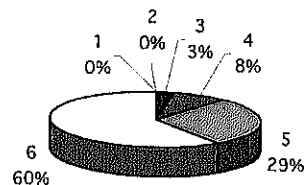


図15 スポーツ・運動の文化的側面に触れることができた

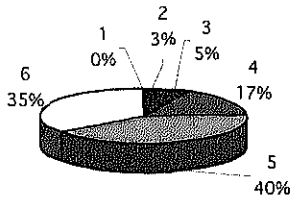


図16 スポーツ・運動の知識や理論が理解できた

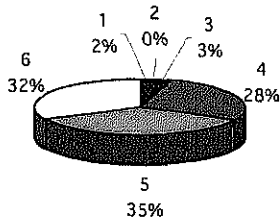


図17 現在の社会におけるスポーツ・運動の必要性、価値などが感じられた

#### 4. 授業の欠点及び対処

初心者は剣道着、袴、防具を着装することに時間がかかり過ぎてしまうが、実技練習の時間を大切にしたいあまり、脱着の練習時間をあまり取らなかった。結果、授業中に面や胴の紐が外れたり、袴の紐がずれ落ちたりしてしまう状況が多く見られ授業に支障をきたした。今後は、剣道着、袴、防具の脱着に関

しての資料を配付し、授業中に紐等が外れないように注意したい。

授業開始から10分間で剣道着、袴、防具の着装、各自で準備運動、鏡の前での素振りを行うようにしているが、準備の遅い者は十分な準備運動ができないまま授業に参加している者が多少見受けられた。10分を過ぎて道場に入ってきた者には準備運動してから参加させているが、準備運動の不十分な者にたいしての対処法を検討しなければならないと感じている。

#### 5. 最後に

今回の学生による授業評価を受け、高い評価を頂き感謝している。この結果の要因を自分なりに分析してみると、まず考えられるのが、体育センター準研究員（文部技官）時代の研修である（研修とは、体育センターで開講している科目に授業補助という形で授業に参加し、各先生の指導法を学ぶ機会である）。専門である剣道の指導では気付かなかった様々に、専門外の科目を研修させて頂くことによって気付かせて頂いたことが、今回の評価に大きく影響しているように思う。

共通科目「体育」の授業に関する調査

筑波大学体育センター（2003年度版）

- 調査の趣旨： 1、この調査は、共通体育の授業を一層充実させることを目的として、体育センターが実施するものです。  
 2、記入にあたっては、受講した授業科目全体を統合して、個人の責任と判断で回答して下さい。  
 3、この調査が、あなたの成績に影響することは絶対にありません。

- 記入の方法： 1、授業科目・担当教官・学類・時限などは、別紙を参照してコード番号で答えて下さい。  
 2、質問項目のすべてについて、それぞれ該当するもの一つを選び、数字を○で囲んで下さい。  
 3、は自由記述欄です。建設的な意見があれば記入して下さい。

1. 曜・時限  
(または集中)    
コード番号で答えて下さい

2. 担当教官    
コード番号で答えて下さい

3. 授業科目名    
コード番号で答えて下さい

4. 希望の科目?  第1希望 → 1  
 第1希望以外 → 2

A、あなた自身について

1. 学類  
(専門学群)    
コード番号で答えて下さい

2. 学年   
コード番号で答えて下さい

3. 性別  男性 → 1  
 女性 → 2

4. 出席状態が良く、熱意ある態度で授業に取り組んだ

とても						まったく
+++	++	+	-	--	---	
6	5	4	3	2	1	

B、授業の運営や指導法について

1. シラバスを含めて授業に計画性が見られた。

とても						まったく
+++	++	+	-	--	---	
6	5	4	3	2	1	

2. 授業の難易度レベルの設定が適切であった。

+++	++	+	-	--	---	
6	5	4	3	2	1	

3. 教官の教え方が上手で、内容が理解しやすかった。

+++	++	+	-	--	---	
6	5	4	3	2	1	

→ 次ページへ

4. 施設や用具は適切であった。

とても						まったく
+++	++	+	-	--	---	

	6	5	4	3	2	1
5、教官は、授業に関わる十分な知識と高度な専門性を備えていた。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
6、教官の授業運営に熱意や工夫が感じられた。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
7、教官と学生とのコミュニケーションがあった。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
8、成績の評価法は公平かつフェアであった。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
9、授業の運営や指導法についての自由記述欄						

C、授業の内容や効果について

	とても					まったく
1、スポーツ・運動をすることにより、解放感や爽快感が得られた。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
2、学生相互のコミュニケーションがとれた。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
3、健康・体力の維持増進に役立った。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
	とても					まったく
4、スポーツ・運動の技能向上に役立った。	+++	++	+	-	--	---
	6	5	4	3	2	1
5、スポーツ・運動への興味関心（やること、見ること、読むこと、など）が高まった。	+++	++	+	-	--	---

6	5	4	3	2	1
6、スポーツ・運動の文化的側面（歴史、ルール・マナー・用具・技術の変遷、その社会的背景など）に触れることが出来た。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
7、スポーツ・運動の知識や理論（健康・体力について、技能習得について、スポーツの楽しみ方について、など）が理解できた。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
8、現在の社会におけるスポーツ・運動の必要性、価値などが感じられた。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
9、授業の内容や効果についての自由記述欄					

D、総合的な観点から

とても					まったく
1、卒業後も、生活の中にスポーツ・運動を取り入れる必要性を感じた。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
2、私が受けた体育の授業は、自分自身のため（自己啓発、自己開発、自己実現、など）になった。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
3、総合的に評価して、私が受けた体育の授業に満足している。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1

→ 次ページへ

E、共通体育全般について

とても					まったく
1、1年生入学時の新学期オリエンテーション（1～2週目の全体講義）は役に立った。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1
2、科目選択のオリエンテーション（履修の説明）は役に立った。					
+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1



3、3学期に行われた1・2年生全体講義は役に立った。

+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1

4、1学期の体カテスト（体育館、陸上競技場）は自分の体力を知るために役立った。

+++	++	+	-	--	---
6	5	4	3	2	1

5、共通体育にかかわる希望や意見などがありましたら、自由に書いて下さい

#### 本調査の回収方法

- ・講義時間内に記入、終了時に所定の袋にて回収します
- ・その後、代表者（学生）が袋に封をして、全員の調査用紙を体育センター事務室に届けて下さい。  
（体育センターのスタッフ（教官以外）がいる場合は、そのスタッフに封をした袋を預けても結構です）

## 剣道用語解説

用語	英訳	解説
1 防具 (ぼうぐ)	kendo armor	竹刀で実際打ち合う稽古の際、身を守るために身につけるもの。
2 木刀 (ぼくとう)	wooden sword used as practice weapon	刀を模した木の刀。素振り、形稽古の際に用いる。
3 武道 (ぶどう)	chivalry, way of knight	日本古来の武術 (殺人術) が人間形成にその主眼をおき変容したもの。
4 武士 (ぶし)	samurai, knight	昔の農民、商人の上の身分。武術をもって主君に仕えた。
5 近間 (ちかま)	near interval	近い間合い。自分も打ち込めるが、相手も打ち込める危険な距離。
6 中段の構え (ちゅうだんのかまえ)	position of the shinai at the ready - with point aimed at center of opponent just above belt line	別名水の構え。剣道の基本の構えで、攻防において非常に柔軟に対応できる構え。
7 段 (だん)	rank, grade	剣道の階級の一種。剣士の稽古の成果の客観的評価基準。
8 出端技 (でばなわざ)	attacking-at-the-start technique	仕掛け技のひとつ。相手が技を出そうとするその瞬間を先にとらえる技。
9 胴 (どう)	trunk, waist, chest area	打突部位のひとつ。左右とも有効であるが、基本は相手の右胴。
10 道場 (どうじょう)	fencing hall	稽古の場所。
11 下段の構え (げだんのかまえ)	position of the shinai when held lower than waist with point towards the floor	別名土の構え。中段の構えの剣先を相手の足元にむけた守りの構え。実戦ではあまり使われない。対なぎなた戦に有効。
12 互格稽古 (ごかくげいこ)	practice between kendoists of equal ability	技量の同程度のもの同士がもてる技術をかけひきのなかで発揮しあう稽古法。
13 始め (はじめ)	begin	試合、稽古の開始の合図。発声は大きな声で歯切れよく。
14 袴 (はかま)	divided skirt	剣道の稽古時または、和式の正装として着用する。
15 払い技 (はらいわざ)	warding-off technique	仕掛け技のひとつ。相手の竹刀を払い落とししたり、払い上げたりして隙をつくらせ打ち込む技。
16 引き技 (ひきわざ)	stepping-back technique	仕掛け技のひとつ。つばぜり合いから体を引きながら打ってさがる技。

17	一足一刀の間 (いっそく いっとうの ま)	interval for a stroke at a step forward	一歩の踏み込み足と一振りて相手に打突が届く間合い。常の稽古は遠い間合いから攻め込み、この間合いからの打突を心がける。
18	上段の構え (じょうだん のかまえ)	position of the shinai held above the head with one or both hands or held in front with the right or the left hand	別名火の構え。中段より振りかぶった位置での構え。通常の右上段に加え、左足を前に出す左上段がある。攻撃の構えで、守りにはむかない。
19	返し技(かえ しわざ)	tecniqe of receiving opponent's stroke and deflecting it with the reflexive power of the shinai	応じ技のひとつ。相手の打ち込んできた技を受け返して打ちこむ技。
20	掛かり稽古 (かかりげい こ)	attack practice	休むことなく相手にどんどん技を仕掛けていく稽古。元立ち(受ける側)は間合いの調整、十分でない打突を出させないことに注意する。
21	寒稽古(かん げいこ)	winter practice	冬の厳しい寒さの中、早朝から打ち込み、掛かり稽古を中心とした稽古を行う。精神の鍛錬が主。
22	形(かた)	old style form of kendo employing steel blades	剣道の理合いと基本の動作を集約した稽古法。広く行われる日本剣道形が現代剣道の形稽古で主に行われている。
23	担ぎ技(かつ ぎわざ)	shouldering-the- sword tecniqe to make a swift dodge or sidestep movement to avoid being attacked	仕掛け技のひとつ。竹刀を担ぐ(主には左右の肩)ことによって、相手の虚をついて打突する技。
24	稽古(けい こ)	practice	練習のことを言うが、古(いにしえ)を考えるとという意味で、先人の教えから常に自らを省みることに主眼がおかれる。
25	切返し(きり かえし)	warming-up exercise with the shinai	打ち返しともいう。剣道の基本的な稽古法で、足さばき、手の使い方等、重要な要素のほとんどを網羅している。
26	小手(こて)	hand armor	打突部位のひとつ。左右とも有効であるが、基本は相手の右小手であり、左小手は中段の構えが崩れた場合や、胴体よりも高い位置に左小手がくるような構えに対するとき有効になる。
27	間合(まあ い)	distance between two kendoists	相手と自分の距離のこと。単に可視的なものにとどまらず、気持ちの距離に関しても表す。

28	面 (めん)	mask, face guard	打突部位のひとつ。左右のこめかみの上部を有効とする。もっとも多く稽古され、試合でも多く出現する技である。
29	抜き技 (ぬきわざ)	technique of luring opponent to make a stroke and then dodging it	応じ技のひとつ。相手の打ち込んできた竹刀に空を切らせてできた隙を打ちこむ技。
30	応じ技 (おうじわざ)	defense-plus-counterattack technique	相手の技を完全に出させ、返したり、擦り上げたり、抜いたり、打ち落としたりして隙をつくらせ打ち込む技。
31	先革 (さきがわ)	leather tip of the shinai	竹刀の先を覆っている革。
32	仕掛け技 (しかけわざ)	technique of delivering a stroke by taking advantage of opponent's being off guard	自らが先に打ち込んでいく技。払っての技、巻き落としての技もこれのひとつ。
33	竹刀 (しない)	fencing stave used in kendo	刀を模した竹の刀。防具と共に用いた打ち込み稽古により、実戦さながらの稽古を可能とした。歴史は江戸時代までさかのぼる。
34	蹲踞 (そんきょ)	crouch position	試合、稽古前に向かい合う姿勢。相撲でもよく見られる。
35	素振り (すぶり)	exercise in movement of shinai to simulate striking of points	空間打突。野球等でも用いられ、これを多く修練してゆくことで無駄のない打ちを身につけていく。
36	擦り上げ技 (すりあげわざ)	technique of warding off opponent's shinai with sliding, upward movement and then delivering stroke by taking advantage of his unbalanced posture	応じ技のひとつ。相手の打ってきた竹刀を擦り上げて打ち込む。手首を柔軟に使えないとうまく決まらない技。
37	体当たり (たいあたり)	body contact	打突の余勢であいてに腰からあたっていくことをいい、相手の体を崩し、次の技につなげる技術。
38	垂 (たれ)	kendo waist armor	胴の下につける防具。急所を守る役割があり、前方には垂れネームをつける。
39	遠間 (とおま)	distant interval	遠い間合い。自分も相手も打突は届かない間合い。この間合いから攻め合いをしていき一足一刀の間からの打突につなげていく。
40	鐔 (つば)	guard on shinai or sword	刀、木刀、竹刀の刃部と柄の間にあり、相手の打ちから手元を守る。
41	柄 (つか)	leather cover on handle of shinai	刀、木刀、竹刀の構えたときに握る鐔より下の部分。



## 一般体育「剣道」授業について

鍋山 隆弘

武道館での作法について

道場 道場の出入りは一礼を忘れないこと。

玄関 靴は必ず靴箱に入れること。

自転車 指定された場所に置くこと。

貴重品 道場に持ち込むこと。

体力測定について

赤カードを持参すること。

休まないこと。

薄着になれる服装にすること。

火曜 1 限 5 月 18 日屋外体力測定

火曜 2 限 4 月 27 日屋内体力測定 5 月 18 日屋外体力測定

木曜 1 限 5 月 27 日屋外体力測定

木曜 2 限 5 月 6 日屋外体力測定 5 月 27 日屋外体力測定

金曜 3 限 5 月 21 日屋外体力測定

単位について

見学者は見学と申し出ること。

欠席届は、基本的に前日までに提出すること B-314。

遅刻、早退、見学、0,5

出席が足りない場合は単位を出さない。救済処置については 12 月に説明する。

剣道着・袴について

剣道着・袴は 2 学期に貸し出しします。

更衣室に置かないこと。

途中で授業を放棄するものは、剣道着・袴をクリーニングにだして体育センタ

共通体育 剣道 夏期休業レポート課題（鍋山 隆弘）

1 地元の剣道道場または、剣道クラブの見学をし、以下の観点を中心にレポートをまとめなさい。

- ・ 道場の紹介（道場またはクラブ名、所在地、師範または館長および構成員、稽古体制を中心に）
- ・ 師範、または館長、先生が門下生に何を中心に教えているか、剣道を通じて何を学んでほしいと思っているか
- ・ 稽古を見学して剣道の武道特性（スポーツ競技としてではなく日本古来の文化特性）について気がついたこと（礼儀作法、師弟関係など）
- ・ 見学をしての感想
- ・ 見学させていただいた道場にお礼状を出すことを勧める（感想等を含む）
- ・ 見学に行く際は、道場の許可を取り、師範にきちんと挨拶をすること。くれぐれもご迷惑をかけないよう配慮と自覚を持って見学をすること。可能ならば、稽古風景を写真に収めてくるとなおよい。
- ・ 封筒の裏面の訪問者欄に自分の氏名を書き、訪問先の先生に渡すこと。

2 授業の感想

- ・ 授業のよかった点、悪かった点と、疑問点も含め今後の授業で教えてもらいたいことをレポートにまとめなさい

3 提出先

- ・ [nabeyama@sapcc.tsukuba.ac.jp](mailto:nabeyama@sapcc.tsukuba.ac.jp)
- ・ 学類、学籍番号、曜時限、氏名を必ず記入すること。写真等がある場合には、2学期の最初の授業で提出してよい。
- ・ 提出期限 夏期休業中

拝啓

お手紙にて失礼いたします。

突然の訪問を快く承諾していただき、誠に有り難うございます。

さて、訪問させていただいた学生は、現在、一般体育（体育を専門としている以外の学生が受講する体育授業）の剣道の授業（年間 27 回）を受講している筑波大学の学生です。現在は 6～8 回程の授業を受けただけの大半が初心者です（中には経験者もいます）。

今回は、剣道の文化性や社会性を学ぶ一環として道場の訪問を企画しました。授業では感じられない稽古の雰囲気を感じ、地域に根づいている剣道の良さを知ってもらうことを目的としています。また、メディアからの情報も少なく剣道を知らない学生も増えてきており、授業や道場訪問を通して剣道の魅力を感じ、この学生たちが、将来子どもを持つ親になったときに「剣道を習わせたい」といった気持ちになってくれることも期待しております。

はなはだ勝手なお願いだとは思いますが、趣旨を御理解の上、御協力よろしくお願いします。なお、訪問の際の指導はしておりますが、学生の言動や行動に問題等がございましたら、同封の FAX 用紙に御記入の上、御返信頂ければ、後日指導させていただきます。

早々



NO. 曜日性別	プラス評価
1 木2 男	手抜きのない授業だったので受講する学生として毎回の授業において真剣に取り組めた。
2 木2 男	授業の開始、終了時刻が合理的に決められていた事。
3 木2 男	「死んではいけない」という言葉に、現実の直視及び我慢、努力の重要性を改めて認識した。
4 木2 男	ゆっくり丁寧に練習できて良い。
5 木2 男	基礎を重点的に行う形式はとてよい。
6 木2 男	最初にビデオを見たことで先に剣道というものについて知識を得られてよかった。
7 木2 男	剣道の指導法や行動の由来などを学ぶことができ、勉強になる。
8 木2 男	自分の注意などで相手が良くなるとうれしい。
9 木2 男	竹刀で受けるだけでなく実際に面を打つてみたり連続技をやってみたりというのはよかった。
10 木2 男	連続技のところ、小手の単打をやる前に小手面にはいたり、間隔があまり取れないところでの面の三連打など面白かった。
11 木2 男	踏み込みの時の空き缶をつぶすようにという例えなどわかりやすい説明が助かった。
12 木2 男	初歩を思い返せる機会があるのはいいことだと思う。
13 木2 男	剣道の技術的なものから立ち振舞いに至るまで基礎からきちんと教えてもらえてよかった。
14 木2 女	基礎から教えてもらえる。
15 木2 女	T・Aが多く、出来ていないところも細かく個別に指導してもらえる。
16 木2 女	最初の10分間に復習時間がある。
17 木2 女	普段知り合う事のできない部の人とも話せていい機会になっている。
18 木2 女	自分が頑張ったぶんだけ上手になるのがとても嬉しい。
19 木2 女	汗をかくのが気持ちいい。
20 木2 女	八段試験のビデオが今までに見た剣道のビデオの中で一番面白かった。
21 木2 女	正座の仕方です座るとき左足から座り、立ち上がる時右足から立ち上がるのは攻められたときとっさに対応できるためと知ったときおもしろいと思った。
22 木2 女	指導員(TA)が2人もいることで、より密度の高い授業ができています。
23 木2 女	新しい練習のときは先生と数人の先輩たちがグループにわけて教えてくださるのでわかりやすい。
24 木2 女	道場の引き締まった雰囲気は非常に気持ちいい。
25 木2 女	道場の雑巾がけがよかった。
26 木2 女	踏み込みについて、空き缶をつぶすという表現の仕方が分かりやすい。
27 木2 女	3, 4人の小グループに分かれて打ち合うのはとてもやりがいがある。
28 木1 男	説明は具体的で非常に分かりやすかったです
29 木1 男	礼儀作法を大切にするというところが今までやってきたスポーツと違い新鮮だった。
30 木1 男	TAの先輩方もいっしょに、指導がしっかり受けられたこと
31 木1 男	教えるときに初めての人にはわかりにくいところも、わかりやすく例えを使ったりして少しでもわかりやすく説明しようとしている点
32 木1 男	竹刀に対する歴史に基づく厳密な作法や細かい踏み込み足の指導など、基礎から細かく教えて頂きより剣道についての理解を深めることが出来、とても良かったと思います。
33 木1 男	足さばきや素振りなど基本からしっかりと教えてもらえたことです。
34 木1 男	基本のすり足や構え方について教えていただけて良い事だと思います。
35 木1 男	指導してくださる方も体專の先輩も3人くらいいっしょるので打ち込み稽古をするときでも御指導して頂けるので常に自分の悪いところを意識して練習できます。

36 木1 男	先生二人に対して人数が多いわりに、細かいところまで見てもらっているのも、とても嬉しく思います。
37 木1 男	基礎練習を何度も繰り返すことによって、技術をきちんと自分のものに出来るところだと感じます。
38 木1 男	礼儀のことも今後の社会生活において重要なことだと思うので、丁寧に教えてくれるところも良いところだと思います。
39 木1 男	基本から教えてもらえてよかったです
40 木1 男	礼から入り剣道の基本的な動作を順を追って授業を進めていただけるので、少しずつ基礎から固めていけるような気がして、とても剣道に触れているという実感がわかります。
41 木1 男	人数が多いために、頻繁に見てもらえないのが、残念といえば残念です。
42 木1 男	授業では、素振りをする時間が多いのが良かった。
43 木1 男	先生方がしっかりと正しく、そしてとてもわかりやすく丁寧に指導してくれてとても良かった。
44 木1 男	とても楽しく受けさせていただきました。高校の剣道の授業よりもずっと専門的で満足しています。
45 木1 男	剣道の技術面だけではなく、1つ1つの動きや、言葉にこめられている精神的な部分の説明を詳しくして下さる事です。
46 木1 男	その動きをするのか、ということをしかりと教えてくださってから練習する、というスタイルによって剣道をよりよく理解できると思います。
47 木1 男	基本を常に大切にしながら授業を進めてくださるのも、よい点だと思います。
48 木1 男	毎週の練習で基本をしかり教えてくださり、不適切な点があればその都度注意していただけるのが嬉しい。
49 木1 男	先生方のご指導が分かりやすく、特に竹刀の握り方や踏み込みなど、新しく学ぶことはホワイトボードなどを使って丁寧に教えてくださるのがありがたいと思う。
50 木1 男	剣道というものに興味がわいてきてやる気が出てきました。
51 木1 男	初心者でも授業にしかりついていけるような授業内容はとてもよいと思う。
52 木1 男	先生が不在のときも、アシスタントの大学院生が練習を見てくれるなどしていただけたのは良かったと思う。
53 木1 男	最初の授業のときに剣道の歴史みたいなことを教えてくれてよかったと思う。
54 木1 女	基礎からしかり教えてもらえてよかった。
55 木1 女	授業はわかりやすく、楽しく受けている
56 木1 女	持ち方、置き方、姿勢、立ち方、座り方など、一から丁寧に教えていただいたので、とてもわかりやすかったです
57 木1 女	剣道八段への道のビデオなどは、なかなか内容的にも興味深く、目からうろこでした。
58 木1 女	覚えることが毎回たくさんあって大変だったが、その都度きちんと先生に説明してもらえるのがとてもよかった。
59 木1 女	最初の1、2回は本当に緊張していましたが次第に「楽しい」と感じるようになることができました。
60 木1 女	礼儀や道徳観も教えていただいているようで、今まで触れたことのないものに触れることができ楽しいし、剣道を選択することになったのも嬉しい偶然かなと思う。
61 木1 女	全体的に、もう少し時間があつたらいいと思うところが多かったのが少し残念に思う。
62 木1 女	悪いところをすぐに教えてもらえて、アドバイスがもらえるところ。
63 火1 男	素振りに始まり、すり足などの剣道の技術とともに正座の仕方や挨拶、黙想、道場の掃除などいろいろなことを学ぶことができた。
64 火1 男	心・技・体といわれることがよくあるが、まさしくそれを学んでいるのだと感じる。
65 火1 男	自分でも少しは上達しているのが実感できて楽しかったです。

66	火1	男	1つのことを単に教えるのではなく、丁寧に、そしてその行動の由来まで解説してくれたので、とても楽しく、有意義な授業となった。
67	火1	男	授業開始は復習の時間を、最後の時間は自分で今日の反省を書く時間を与えてくれたおかげで、一回一回の授業を流さずに受けることができる環境にあると思います。
68	火1	男	向き合って技を打ち合うことは一学期にやりましたが、あの稽古も良い環境だと思います。
69	火1	男	今までちゃんとした先生に基本を教えてもらったことがなかったのでとても楽しかった。
70	火1	男	良かったと思うのは、道場の掃除をさせたことと、それを雑巾がけでやらせたことだと思う。
71	火1	男	今まで武道に関しては全くの門外漢で、ついていけるのか多少の不安はありましたが、基本から丁寧に教えて頂けて今ではそういった不安はありません。
72	火1	男	授業の最後でその日の感想文を書かせる方式は、自分のよかった点や悪かった点を振り返らせる機会を設けてくれていることで、その日のことを反省できて良いことだと思う。
73	火1	男	授業のよかった点は、基本からじっくり進んでいったことだと思います。
74	火1	女	授業中も丁寧に教えていただけて助かっています。
75	火1	女	道場の掃除など「礼儀」を学ぶ機会が多く、体育というより修練の時間の印象が強い。このような環境は背筋が伸びて気持ちいい。
76	火1	女	剣道のビデオを見ましたが、あれは自分の中ではとても印象深く残っていて、すごく見てよかったなあと感じました。
77	火1	女	まったくの初心者でしたが、わかり易い指導で、楽しく剣道をすることができました。
78	火1	女	先生が一人一人に注意して下さる事と、剣道の意味について教えて下さる事です。
79	火1	女	ただひたすらに竹刀を持つのではなく道場の掃除をやらせていただいたり、いろいろと剣道について話して下さるのがありがたいです
80	火2	男	基礎をもう一度体系立てて復習できてよかった。
81	火2	男	剣道の足掻きから打ち方というような基礎をじっくりやっていて初心者としては有難い。
82	火2	男	去年に引き続き剣道を履修しているが、教えている内容も去年と若干異なるなど工夫が見られ、非常に楽しく授業を受けている。
83	火2	男	初めて竹刀を握ったとき高揚感を覚えた。
84	火2	女	指導が分かりやすく丁寧に、剣道の経験がなくても理解はできた。
85	火2	女	段階の進み方がゆっくりなので安心して着いていくことが出来、とても楽しい。
86	火2	女	精神を鍛えるということに魅力を感じる。
87	火2	女	先生の教え方はとても分かりやすい。
88	火2	女	実際に竹刀を持って面打ちなどをするのは楽しい。
89	火2	女	毎回の授業が新鮮で楽しい。
90	火2	女	剣道で礼儀が想像以上に重んじられていること、剣道の深さを知ることができて良かった。
91	火2	女	説明が論理的なので、分かりやすく、納得しつつ授業が進む。授業は良い雰囲気だと思う。
92	火2	女	授業は良い雰囲気だと思う。
93	火2	女	道場に入るときの心構えというか、礼儀から教えてもらったことはとてもよかった。
94	火2	女	剣道という、日本古来の競技を通して今まで知らないままで来てしまった常識に触れることができる機会を得たことはうれしい。
95	火2	女	構え方の原意というか、そういう理論もとても興味深い。
96	火2	女	1学期までのとにかく基本を重視した授業は最適だったと思う。

97	火2	女	面白いと思うのと同時に、真剣を握る人々のことを考えてその精神を思うことができる。
98	火2	女	はじめは不安だったが少しづつ楽しくなった。
99	火2	女	先生が親しみやすい方だったので毎回楽しみながら学べたこと。
100	火2	女	理論的に理解ができてよかった。
101	火2	女	自分のフォームを見直すいい機会となった。
102	火2	女	剣道経験者が多くいてグループ練習のときに指導してくれるので非常にありがたい。
103	火2	女	背筋を伸ばし正座をし、礼をしてから始る。とても身が引き締まる感じがして良かった。
104	火2	女	面打ちや素振り、すり足など一つひとつに対して一生懸命に取り組んだ後はとてもいい汗をかくことができ気持ちが良かった。
105	火2	女	みんなのレベルに合わせて少しづつ練習内容を変化していたため、難しすぎて着いていけなくなるということがなかったこと。
106	金3	男	日本刀に関する基礎的な知識を学べたのもよかった。
107	金3	男	実際に体を動かす前に先生が解説をしてくださるので、無意識にやっていたことを見つめ直すことができた。
108	金3	男	初心者でも、何とか形になるくらい丁寧に授業をしていただけた。
109	金3	男	技術的なことに関してはいろんなアドバイスをもらい、同好会の稽古などにも生かすことができている。
110	金3	男	授業はとても楽しい。基本からやり直す機会はあまり持てないし、貴重な時間だ。
111	金3	男	礼儀作法というそこまで重要視されていないことをしっかりとやることは、新鮮な感じがした。
112	金3	男	基礎の練習の繰り返しをすることが面白かった。
113	金3	男	自分の欠点を見直すのにいい機会でした。
114	金3	女	剣道の楽しさや道場に流れる緊張感、相手を敬う礼儀作法も学ぶことができた。
115	金3	女	技を覚えるときも、わかりやすい例えや、練習方法で学ぶことができたので、楽しんで覚えることができた。
116	金3	女	先生の踏み込みの説明が分かりやすく、素直に頭に入ってきたので良かった。
117	金3	女	基本の基本からしっかり且つゆくりと教えてくれた。
118	金3	女	生徒同士で教えあう機会も作っていただき、他の人の良いところも参考にすることが出来た。
119	金3	女	未経験者にもわかるように丁寧にわかりやすく説明してくれた。
120	金3	女	毎回感想を書くことによってその授業での自分を見直せる、自分の問題点や頑張ったところを認識できる。
121	金3	女	わりと進むペースがゆっくりだったのでなんとかついていくことができた。
122	金3	女	歴史的な観点から剣道を学べたのがとても良かった。
123	金3	女	踏み込み足のひざと足の裏の位置関係や、足の下ろしかたの説明がとても分かりやすかった。
124	金3	女	易しいところから入って分かりやすかったことや、全体だけでなく一人一人見てくれたこと。
125	金3	女	剣道の歴史や、一つ一つの動作の意味を教えてくれたこと。
126	金3	女	道場の人達との出会いも私にとっていい財産になったと思う。
127	金3	女	全国トップクラスの先生に指導していただいていること
128	金3	女	いつも次は何やるんだろうと、ドキドキして集中できる。
129	金3	女	初心者の自分にとってはちょうどいいくらいの授業進度。
130	金3	女	イメージの湧きやすいものにとえて指導して下さった。

131 金3 女	経験者と初心者を混ぜた練習をすることで、先生方には質問しづらかった小さなことも聞くことができた。
132 金3 女	自分の竹刀が持てたのは嬉しかったし、基礎からちゃんと教えてくれるところ
133 金3 女	剣道は足の運び方が独特であるので、その稽古から入れたことは良かった。
134 金3 女	授業のはじめと終わりの挨拶や礼儀を重んじるところにも、スポーツ競技として以外の魅力を感じました。
135 金3 女	あまり筋肉痛が出なくなってきたことがうれしいと感じている。
136 金3 女	授業を通して剣道は体のバランスを大切にしていると感じ、オリンピックもそのような視点から視聴することができた。
137 金3 女	基本的な稽古の中で新しい発見もあり楽しかった。
138 金3 女	私以外にも初心者の人もいたし、先生が一から教えてくれたこと。
139 金3 女	先生の指導が本当に基本的なところからだったので、わかりやすくすんなりと剣道を始められた。
140 金3 女	歴史から見た剣道の打突部位の意味を知り、動作のポイントも分かりやすい例で力の入れ所を把握できた。
141 金3 女	見て盗めと言う武道の印象を変えた、とても合理的で意義のある一学期だった。

NO.	曜日	性別	マイナス評価
1	木2	男	一学期から胴着と袴を着用して授業を受けたい。
2	木2	男	剣道という礼儀を非常に重んじるスポーツをしているので、より徹底した礼儀作法の指導を受けたい。
3	木2	男	すり足のみの練習をもう少し増やしてほしいと感じた。
4	木2	男	練習することの説明があまりない。
5	木2	男	早い段階で胴打ちもしたい。
6	木2	男	剣道に関する礼儀作法などのことをもっと教えてもらいたい。
7	木2	男	基本だけはきちんと身に付けたいのでなるべく多くの時間を割いてもらいたい。
8	木2	女	休講などで回数が少なかったのが残念だった。
9	木2	女	基本動作の繰り返し練習も継続して練習に取り入れていって欲しいと。
10	木2	女	うまく姿勢を保てるような筋力の鍛え方を教えてほしい。
11	木2	女	授業の最初5分ぐらい「礼」について教えてもらいたい。
12	木2	女	技術だけでなく剣道のルールももっと細かく教えていただきたい。
13	木2	女	「守・破・離」や「心・気・力」のような精神も知りたい。
14	木2	女	授業の日数の関係もあるが、ややペースが速い。
15	木2	女	元太刀のやり方など、「暗黙の了解」に近い部分も解説しないとわからない。
16	木2	女	剣道の歴史といった部分にも触れてみたい。
17	木2	女	時間があれば、模擬刀を振ってみたい。
18	木2	女	「教士」「範士」「錬士」の意味が分からない。
19	木2	女	難しい技術の時は時間をかけて教えてほしい。
20	木2	女	進むスピードが速い。
21	木1	男	様々な理由で授業がつぶれてしまい、少し物足りなかったです。
22	木1	男	時間が週に一回90分と短いのが上達するに不十分だろうと思った。
23	木1	男	大勢で練習をするためなかなか一人一人を細かく指導することが難しくなり教えられたことができていなくても次に進んでしまうことがある点
24	木1	男	教えられたことができていなくても次に進んでしまうことがある点
25	木1	男	一学期は、授業の回数が少なかった点では残念でした
26	木1	男	掛かり稽古のときには少し少ないような気がする
27	木1	男	指導してくれる人が人数のわりに少なくてきちんと授業が回らないところがあったことです。
28	木1	男	授業の最後に感想を書く時間がもう少しほしいです。次の授業への移動の時間が短くなってしまっ大変なときがあります。
29	木1	男	時間的にも無理はあると思うけれど、一人一人への指導がもっとあると良かったと思う。
30	木1	男	学期は授業回数が少なかったのが少し残念であった。
31	木1	男	普段なかなか意識するのが難しいことなので、今後も授業の中で注意できる環境をつくってくださると幸いです。
32	木1	男	TAの先輩方が、ごくまれに武道指導の模範とはいえない姿勢や態度でいらっしゃる
33	木1	男	週1という授業（稽古）の少なさにも関わらず、教える側1人辺りの教わる側の人数の多さも効率を下げている気がする。
34	木1	男	先生の出張が多く、授業のすずみが遅いの気がなった。
35	木1	男	ちよつとやだつたのは剣道が刀道ではなくて剣道なのはなんでもかを言ってくれなかつたこと
36	木1	女	もっと大勢の人と面打ちなどができればよかった。
37	木1	女	跳躍素振りが最初にほとんど説明がなかつたのではじめはわからなかつた（次の週に説明されてわかつたが）。

38	木1 女	1学期は少し休講が多かったのではないかと思います。市内の販売やビデオ鑑賞などであまり普通の練習ができなかったことが残念だった。
39	火1 男	生徒同士が積極的に会話できる環境を作っていただけるととても助かります。
40	火1 男	もう少し早く竹刀を出してもらえると少しは振る回数も増えるかと思います。
41	火1 男	まったくの初心者である私としては何かわかりやすい参考資料があったほうが心強いので、初心者でも理解しやすい参考資料の紹介をして頂けるといいと思います。
42	火2 女	剣道に適した筋トレの方法が知りたいです。
43	火2 女	一人一人、悪いところやその改善方法を教えていただきたい。
44	火2 女	剣道にはどの辺の筋肉を鍛えると有利になるのかなど交えながら今までのような感じで今後の授業をしてほしい。
45	火2 女	全体的にみんなの声小さかったこと。
46	火2 女	移動の時間も考えると昼食を食べる時間が短いので、反省を書くのは次の週までとすると対応を考えてもらいたい。
47	火2 女	グループを作ってお互いに良い点・悪い点を指摘するというのがあったが、初心者同士だとどこが悪いのかも分からず、あまり効果が無かった。
48	火2 女	剣道に関する話をもっと知りたい。
49	火2 女	剣道にあまり関心を持ってなくて参加をしないこともありだめだった。
50	火2 女	基本的な動作ほど難しい。
51	火2 女	これからの授業でたまに剣道に関する話を聞きたい。
52	火2 女	授業後に毎回書いているノートを授業前に見せて頂けると前回何が出来ていなかったか何に気をつければ良いかという事がわかってさらに身につけやすくなると思う。
53	火2 男	日本剣道形を知りたい。
54	火2 男	自分の体が思うように動かないので剣道というものはなかなか難しい。
55	火2 男	籠手技を練習したい。
56	火2 男	竹刀の振りに足捌きを加えると混乱した。
57	火2 女	いまだにできない跳躍素振りが出来るようになりたい。
58	火2 女	竹刀を少しの時間持っているだけで腕がきついので、授業の中に時間があれば腕立て伏せなどの筋力トレーニングを取り入れていただきたい。
59	火2 女	もう少し一人一人を見る機会を増やしてほしい。生徒同士で見ていると、相手の型が合っているのかさえ判断しかねて困ることがある。
60	火2 女	剣道の歴史についてのビデオを見てみたい。
61	火2 女	私達が書いた感想に少しでもいいのでコメントを書いていただけると練習の励みになり良いと思う。
62	火2 女	もう少し実技をスローペースで進めてほしい。
63	火2 女	反復練習時間を多めにとってほしい。
64	火2 女	形を教えてほしい。
65	金3 男	授業が週に一度しかないために前回の内容をすっかり体が忘れてしまうこと
66	金3 男	授業が終わり、15分間の休憩時間のうちに着替えて第2学群まで移動するのはなかなか難しい。
67	金3 男	前日の疲れが残っている日は、2-3分でいいので休憩がほしいな、と思った
68	金3 男	技術的なことだけでなく、もう少し剣道の楽しさなどが分かる授業もして欲しい。
69	金3 女	すり足は何度も繰り返し練習しているけれど、なかなかうまくできるようにならない
70	金3 女	授業の最後に感想を書いて提出してから帰るのが、次の授業までの時間が少し短いときがあった。
71	金3 女	一つの技がまだ身に付かないうちに次々と新しい技を教えられたので、少し進度が早いと思った。
72	金3 女	次の日軽い筋肉痛になってしまうこともあった。

73	金3 女	授業を始める前に、感想を書いていたノートを見直す時間をいただきたい。
74	金3 女	時間が無いから仕方ないけれど出来ないまま先にすすんでしまったところ
75	金3 女	筋肉痛になるほどの素振りや、足が痛くなるほど踏み込みをさせられた時は、後悔したこともあった。